

セレンディピティを生み出す情報プラットフォームの開発

吉牟田陽平

- ・ Twitterの公開情報を利用して、ユーザの興味を反映させることによって、読むのに80分かかかる1,000件のツイートを数分で読めるツールを開発した。
 - ・ 分類と順序付けにより、タイムラインの情報を重要なものだけに圧縮する。
 - ・ 分類はコンプリメントナイーブベイズ、順位付けはユーザプロフィール情報により、さらにツイートの140文字という短文に則したヒューリスティクスを用いて実装した。
-
- ・ 分類と順序付けにより、ツイート数を圧縮する。
 - ・ 問題はツイートの更新件数が多すぎるために、重要なツイートが埋もれてしまうことにある。
 - ・ 重要とは、客観的なものというよりは主観的なものであるべきであると考えた。
 - ・ Twitter自体がもともと、ユーザが恣意的に選択したフォローの組み合わせである以上、そこからさらに選別する基準はユーザの趣味や嗜好にしたがった重要度に基づくべきであると考えからである。
 - ・ ツイート数を圧縮するための手法として、順序付けによる閲覧機会を傾斜させて配分させ、そのときの傾斜の仕方はユーザのTwitter上での発言内容に基づいて形成されたユーザプロファイリングを基準に採用した。
 - ・ ツイートを大きな話題を基準にグルーピングすることで、可読性の向上とユーザの主観的な判断を可能とする、という2つを実現した。